

## エチレンセンター10社の収益状況について (平成26会計年度)

平成27年7月8日  
製造産業局化学課

平成26年度のエチレンセンター10社の石油化学部門の売上高は、交易条件の改善により、輸出が堅調に推移したことや一部製品の設備稼働率が高水準で推移する等の動きもあり、改善傾向にあったものの、昨年後半の原料価格の下落に伴う販売価格の低下や買い控えの動き等により、4兆9,143億円と前年同期に比べ7.4%の減少となった。

また、経常利益については、急激な原油安による在庫評価損等により、213億円と、前年同期に比べ、84.7%の減少となった。

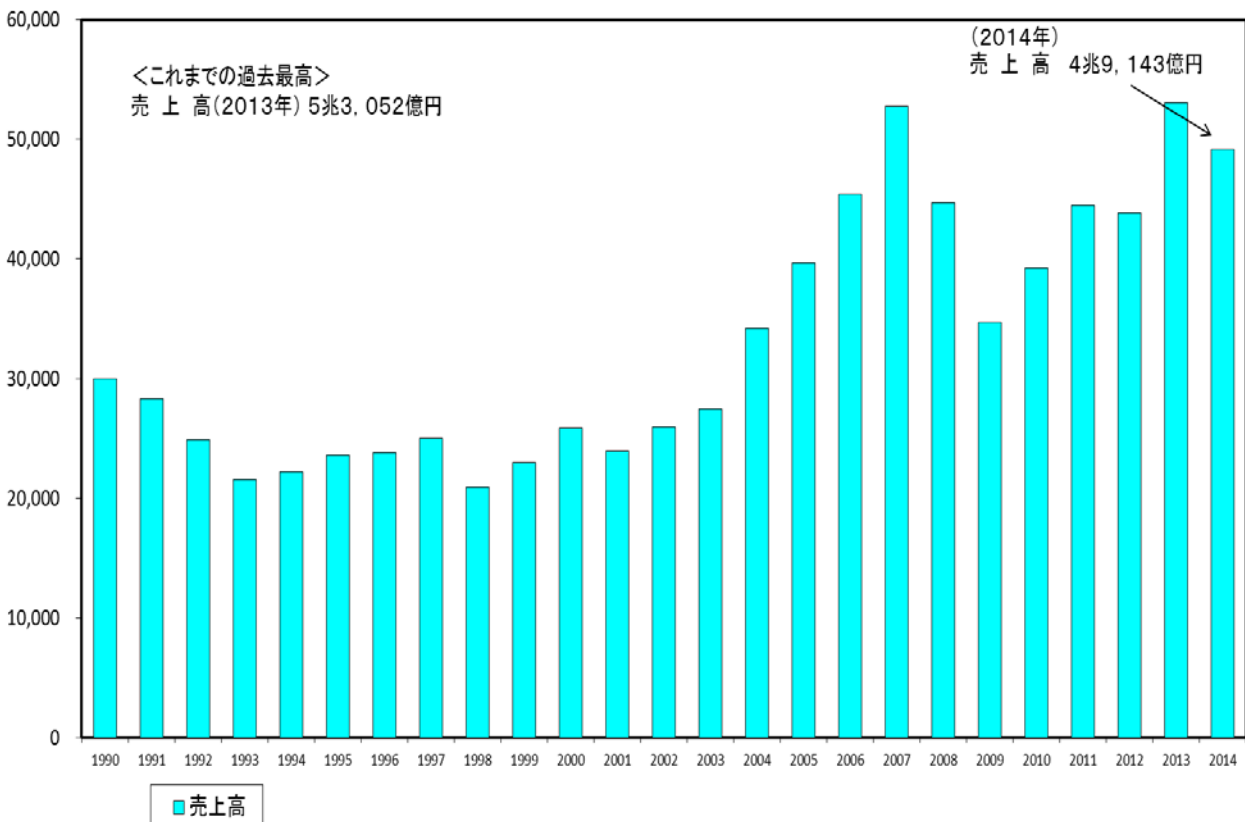
この結果、売上高経常利益率は0.4%と前年同期に比べ2.5ポイントの減少となった。

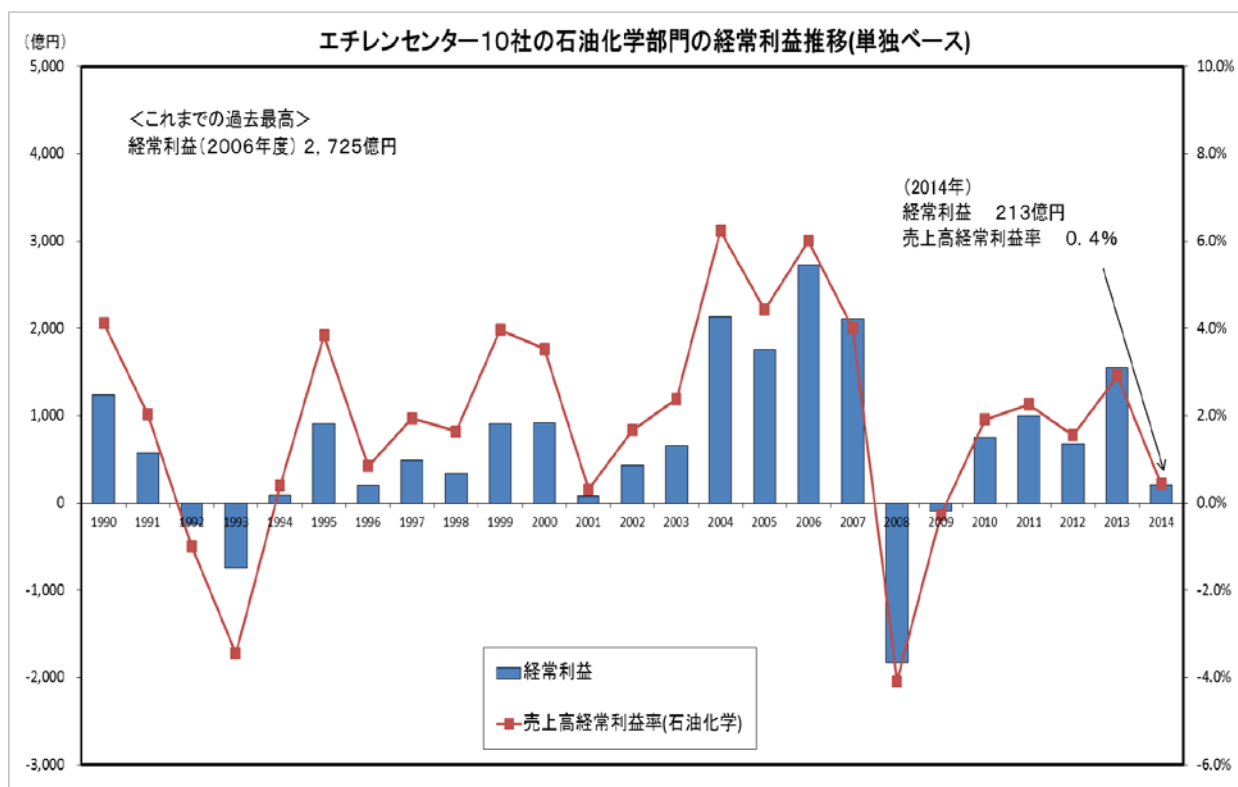
(売上高)                      4兆9,143億円 (対前年同期比 4.1%減)

(経常利益)                      213億円 (対前年同期比 84.7%減)

(売上高経常利益率)                      0.4% (対前年同期比 2.5ポイント減)

(億円)                      エチレンセンター10社の石油化学部門の売上高推移(単独ベース)





**エチレンセンター10社の収益推移(単独ベース)**

(単位: 億円)

年度		平成22	23	24	25	26
石油化学部門	売上高 [億円]	39,220	44,453	43,854	53,052	49,143
	(前年同期比: %)	(+13.0)	(+13.3)	(-1.3)	(+21.0)	(-7.4)
	営業利益 [億円]	689	705	460	1,443	221
	(前年同期比: %)	-	(+2.3)	(-34.8)	(+214.0)	(-84.7)
全社	売上高 [億円]	55,371	60,286	58,996	68,985	66,125
	(前年同期比: %)	(+13.9)	(+8.9)	(-2.1)	(+16.9)	(-4.1)
	営業利益 [億円]	1,171	1,212	820	1,759	1,105
	(前年同期比: %)	-	(+3.5)	(-32.3)	(+114.5)	(-37.2)
石油化学部門	経常利益 [億円]	749	1,002	679	1,548	213
	(前年同期比: %)	-	(+33.8)	(-32.2)	(+127.8)	(-86.2)
	売上高経常利益率(%)	1.9	2.3	1.5	2.9	0.4
	全社	経常利益 [億円]	1,350	1,529	1,555	2,775
(前年同期比: %)		-	(+13.3)	(+1.7)	(+78.5)	(-22.7)
売上高経常利益率(%)		2.4	2.5	2.6	4.0	3.2

(平成26年度集計対象)

旭化成ケミカルズ(株)、出光興産(株)〈石油化学部門〉、大阪石油化学(株)、昭和電工(株)、JX日鉱日石エネルギー(株)〈石油化学部門〉、住友化学(株)、東ソー(株)、東燃化学(同)、丸善石油化学(株)、三井化学(株)、三菱化学(株) ※ 〈〉は各企業の集計対象とした部門

【参考】

エチレンセンター10社の石油化学部門の収益推移(連結ベース)

(単位:億円)

年度		22	23	24	25	26
石油化学部門	売上高 [億円]	59,795	66,001	64,313	76,788	78,390
	(前年同期比:%)	(+14.9)	(+10.4)	(-2.6)	(+19.4)	(+2.1)
	営業利益 [億円]	1,768	1,994	839	2,112	1,716
	(前年同期比:%)	(+423.1)	(+12.8)	(-57.9)	(+151.7)	(-18.8)
	売上高営業利益率(%)	3.0	3.0	1.3	2.8	2.2

注)連結対象会社の変更等があるので、前年度と単純な比較はできない。

(平成26年度集計対象)

旭化成(株) <ケミカル・繊維部門>、出光興産(株) <石油化学製品部門>、昭和電工(株) <石油化学部門>、JX日鉱日石エネルギー(株) <石油化学部門>、住友化学(株) <基礎化学部門、石油化学部門>、東ソー(株) <石油化学部門>、東燃ゼネラル石油(株) <石油化学事業部門>、丸善石油化学(株)、三井化学(株) <石化部門、基礎化学品部門、機能樹脂部門>、三菱ケミカルホールディングス(株) <ケミカル部門、ポリマーズ部門>

※<>は各企業の集計対象とした部門